

各部会報告資料

- ・くらし部会(P1～17)
- ・子ども部会(P18～19)
- ・就労部会(P20)
- ・相談支援部会(P21～23)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P24～26)

平成 26 年 2 月 21 日

熊本市障がい者自立支援協議会

くらし部会報告

【これまでの取り組みについて】

今年度は、新たな取り組みとして当事者交流会の開催を行いました。これは、当事者の方々へ交流の機会を提供するとともに、当事者の方々から生活の中での困りごとや、やりたいことなど生の声を聞かせて頂く機会として実施しました。

また、毎年実施しているグループホーム・ケアホームの情報整理、困難事例の検討については進めることができましたが、ヨカ余暇情報便利帳の情報更新については来年度へ持ち越す形となりました。

○当事者交流会の実施（詳細は、別紙参照）

オリエンテーショングループ、レクリエーショングループ、茶話会グループ、運営・広報の4つに分かれて企画、実施。月1回の検討、打ち合わせしかできない中で各グループとも役割分担して実施することができた。今年度は、まず実施することを目標に行った。来年度は、続けていこうというくらし部会内の意思確認はできたので、今年の反省点を活かしながら、より良いものへとしていきたい。今回の当事者交流会の際に、バス乗車時の運転手の対応で嫌な思いをしたという意見もあり、今後この点については対応を検討していきたい。

○グループホーム・ケアホームの情報整理

今までの事業所へは変更点がないかを確認。新規事業所6カ所については、手分けして情報の収集を行った。相談支援事業所にて情報の共有を行っている。来年度についても、新規事業所についての情報を随時追加していきたい。

○困難事例について

障がい種別ごとのグループにわかれて、H24年度の困難事例を検討。今年度は、当事者交流会が中心になったため、多くのケースを検討することはできなかった。来年度は、当事者交流会の実施月と前月以外は、前半に事例検討を行うこととし、事例についてはタイムリーなケースを検討すること、種別ごとにわかれているが、ケースによって入りたいグループに入れるようにすることとしている。

○ヨカ余暇情報便利帳について

今年度は更新について検討。来年度の更新に向けて方向性の確認を行っている。今後、担当にわかれて具体的検討に入る予定。便利帳の活用を広めていくことも考えていきたい。

【H26年度の予定】

- 当事者交流会の実施
- 事例検討の実施
- ヨカ余暇情報便利帳の更新
- グループホーム・ケアホームの情報更新

当事者交流会報告

<目的>

しょうがいを持つ方の集える時間と場の提供を行うと共に、当事者の方々から生活の中での困りごとや、やりたいことなど生の声を聞かせて頂く機会とする。

<テーマ>

「たのしく、つながる、ひろがる」～当事者交流会～

主催：熊本市自立支援協議会くらし部会

後援：くまもと地域相談支援懇話会

<日時>

11月30日(土) 13:30～16:00

<場所>

ウェルパル大会議室、101会議室

<対象者>

障がい当事者(自立支援協議会に関する事業所の利用者)

<参加人数> 23名(25名申込み)

<内容>

13:00～ 開場・受付

13:30～ ○オリエンテーション
3グループにわかれて、自己紹介。自己紹介カードを活用。

14:05～ ○レクリエーション
① くまモン体操
② じゃんけんゲーム
③ ひごまるくん クイズ・写真撮影

15:00～ ○茶話会 グループ別フリートーク

<経費>

看護協会日当 7,000円

消耗品費 7,944円

看護師駐車場料金 600円



合計 15,544円

*後援のくまもと地域相談支援懇話会より供出

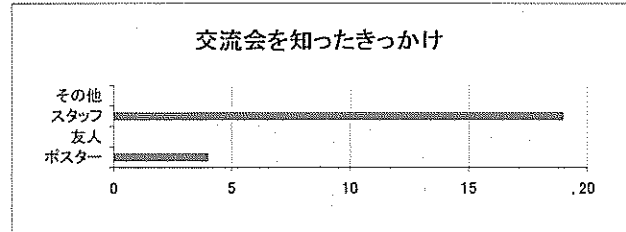
当事者交流会参加者アンケート

申し込み: 25名
 当日参加: 23名
 途中退席: 1名
 欠席: 1名

アンケート回収: 23名

1、この交流会をどのようにして知りましたか？

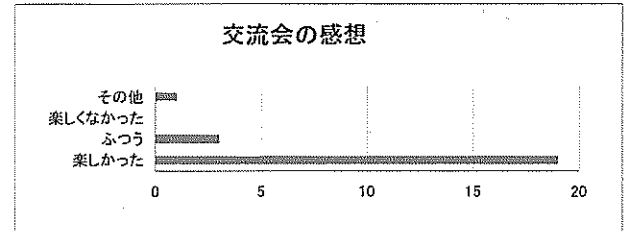
1	ポスター	4
2	友人	0
3	スタッフ	19
4	その他	0



2、今日の交流会はどうでしたか？

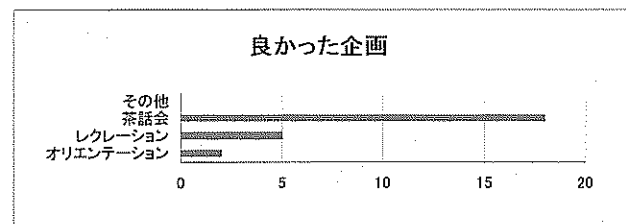
1	楽しかった	19
2	ふつう	3
3	楽しくなかった	0
4	その他	1

きつかった。



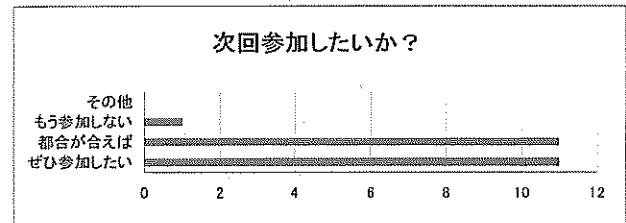
3、一番良かった企画はどれですか

1	オリエンテーション	2
2	レクレーション	5
3	茶話会	18
4	その他	0



5、次回も参加したいですか？

1	ぜひ参加したい	11
2	都合が合えば	11
3	もう参加しない	1
4	その他	0



4、参加したい企画があれば教えてください

- ・友達づくり
- ・みんなでウォーキングしたい
- ・同年代の人たちと話したい(10代)
- ・ビンゴゲーム、ドンジャラ
- ・カラオケ
- ・今回同様なものも新しいものも期待
- ・またこのような企画があれば参加したい
- ・みんな将来の事を教えてください。
- ・今回みたいに、レクレーションと茶話会が合体した企画がいい

6、その他の意見

・アスペルガー当事者にとって自分の事を話したり、大勢の前で話すのは少しハードルがあるように思う。茶話会のあり方とテーマで話すというより自由に話をするようにすれば最も話がしやすいと思う。

- ・食事もできたらいいと思う
- ・時間が長くて、皆が大人の敬語だったからきつかった。若い人が多かつたら来ます。
- ・ひごまるくんがかわいかった。
- ・年に一度よりも3ヶ月に一度くらいにしてくれたら嬉しいです。
- ・くまもん体操が楽しかった
- ・他の方の意見が聞けてよかった
- ・他の人たちと友達になれてよかった
- ・初めての参加だったのでよかったです。司会進行もよかったです。
- ・話ができてすっきりした。
- ・中原さんのファシリが素晴らしかった。素敵な人だ!
- ・話ができてとてもスッキリしました。
- ・スタッフさんが温かく最初の緊張が笑顔になれました。ありがとうございます。
- ・茶話会をもう少し長くしたいと思う
- ・毎年、同じ時期に実施してほしい。
- ・ひごまるくんに会えてよかったです。

当事者交流会関係者アンケート集計結果

- ・回収結果
関係事業所 23 名

【回答結果】

1. 今回の企画について

- ①良かった 21 名
- ②普通 2 名
- ③悪かった 0 名
- ④その他 0 名

→具体的な意見

- ・茶話会の時間をもう少し長めに取って頂きたかった。
- ・茶話会で参加者の「来て話せてよかった」と満足された意見が聞けました。
- ・体操やひごまる君の参加、クイズゲーム等のレクリエーションは和めて良かった。
- ・不安そうに覗かれて入ってきた方が笑顔で帰られた。人数が少なくて良かった。
- ・色んな方との交流ができて良かった。
- ・始めの方でくまもん体操やクイズでリラックスでき笑顔が多く見られた。
- ・スタッフも名札を作って一緒に参加型の交流会でも良かったと思う。
- ・お菓子など食べながらでもいいかなと思いました。
- ・レクリエーションで一気に打ち解けたので、会の構成としても良かったと思います。
- ・じゃんけんゲームの負けた方は少し暇な様子がありました。敗者復活できるようなゲームが良かったかもしれません。
- ・自己紹介の時間がもう少し長くても良いかと思えた。
- ・初めての企画でしたが当事者の顔合わせの機会になり良かった。

2. 事業所としての負担

- ①特に負担とは感じない 16 名
- ②負担と感じた 1 名
- ③どちらとも言えない 6 名
- ④その他 0 名

→具体的な意見

- ・自己紹介レク、茶話会のリーダーにグループ進行の負担がかかりました。参加メンバーによって、進行度にかなり差がありました。

- ・多くのスタッフがサポートしていたので、負担とは感じなかった。
- ・スタッフの皆さまの頑張りに凄いと思いました。自然体で優しい！
- ・相談者の個性が強くフィーリングしない方もいてお声掛けできなかった。
- ・スタッフ側も参加できとても楽しかったです。

3.来年度以降も同様の企画が必要と思うか？

- | | |
|------------|-----|
| ①必要と思う | 19名 |
| ②どちらとも言えない | 3名 |
| ③不要 | 0名 |
| ④その他 | 1名 |

→具体的な意見

- ・想いを語る場、それを受け取る場があれば、皆さん生き生きされると思います。
- ・同様で構わないと思うが、参加された方の意見で良いものがあれば取り入れる方が良い。
- ・帰られて各事業所で参加された方の気持ちをそれとなく聞いて欲しい。
- ・もっと色々な事業所など声をかければ、もっと楽しい会になると思います。
- ・体を動かす事、話しをすること、バランスが取れているイベントで素晴らしかった。
- ・一般の方も一緒に参加して交流できる企画があればいいのではと思いました。クイズやゲームなど学生に声掛けしてはどうでしょうか？
- ・茶話会を通してアンケート記入後までみなさん話をお互いにされていたので必要なものだと思います。
- ・実際にまた来年もあるんですか？という声が聞かれたので企画のしがいもあると思いました。
- ・当事者の意見を取り入れて欲しい。
- ・障害種別や程度がバラバラで楽しかったと思う方とそう思わなかった方の差があるような気がします。少し形を変えて実施した方が良いように思います。

4.その他、気になった点や感想等ありましたらお聞かせ下さい。

- ・精神の特性でしょうか、来場されてすぐ「帰ります」という方もおられ、人数の変更が効きにくい。数の把握が必要なレクは運営の負担がかかるように思います。
- ・第一回の交流会皆さま本当にお疲れ様でした。
- ・茶話会は話す人と話せない人といるので、スタッフが一樣に会話を引き出す事が難しかった。
- ・天気も良くて風・雨その他心配しましたが無事終わってホッとしました。
- ・レクレーションの際、緊張が解けていない参加者がいた。難しいと思いますが内容の改

善をお願いします。

- ・途中に休憩を多めに挟む方が良いのではないかと（疲れた一と言っている参加者がいた）。
- ・茶話会なので、色々な話が聞けてとても良かったです。
- ・相手の雰囲気を読むのが苦手な方がいるので、その場での波長合わせが難しい方がいた。
- ・全体的な時間が短かった様な気がしました。話の進め方次第ではもっと有意義な会になると思います。
- ・参加者を更に増加させる、開催日事前からの告知、集客活動をしていけば良いなと感じました。
- ・運営がしっかりなされていたので素晴らしい会でした。当事者の為にも例年行事として頂きたい。
- ・茶話会では沢山の意見がでて盛り上がったので良かったです。所々で休憩する場を挟んだのが良かったと思います。来年も是非お手伝いさせて下さい。
- ・ファシリテーターも楽しく皆さんと話ができたので良かったです。人数も5~6名でちょうどいいと思いました。有難うございました。
- ・ファシリテーターが皆さま上手でそういう方を選出されたのでしょうか？
- ・利用者の参加がもっとあったら良い。呼びかけを広く行ってはどうか？
- ・参加者の方の笑顔みられて良い企画だと思いました
- ・交流の機会を設ける事で、色々と話をしたり、顔見知りになっていけるというのは大切だと思う。皆さんいい表情で楽しんで参加されていたと思う。
- ・初めての試みだったので、当事者の方々が楽しそうにされていて見ていてホッとした。より多くの方が参加して頂けたらと思う。
- ・ゲームでは人数調整をしたが、休憩する方に合わせてスタッフが抜けたり入ったりして当初考えていた数にならなかつたので余りがでた。ゲームに参加したスタッフの人が合わせてくれたので特に問題なくできた。
- ・音楽やDVDはトラックを合わせるのが難しく、すぐ出なかつたり違うものが流れたりしてスムーズにできない部分があった。イベント用に焼いて準備したほうがいいと思う。
- ・くまもん体操は練習を入れて良かった。
- ・全体の時間はピッタリ終わった。
- ・3種類あってメリハリがあつてよかった。全体に皆さん楽しんでもらえたと思う。
- ・賞品を見せたら良かった。
- ・知らない隣同士でも教え合ったりして自然と声をかけていて良かった。
- ・自己紹介レクレーションの際にグループが近くて声が聞き取りづらかつた。もっと小さな円にすると良かった。
- ・ホワイトボードのマーカーを準備するべきだつた（黒がなく、他の色はつかなかつたり見にくかつた）。
- ・皆さんレクレーションとかで和み緊張がほぐれた印象で良かったと思う。

- ・最初の待ち時間に資料とか自由に見れるブースがあっても今後よいのかも。
- ・今回は参加者を事業所が選ぶ事ができたが、今後募集をかけるようにした時は、対応方法をもっと入念に考えておかねばと思いました。
- ・レクレーション等で体を動かす取り組みはどうしても消極的になってしまう方がいるが、そういう方も気を使わず参加できるものがあったら良いなと思いました。また、予算があればクイズ等での景品はもっと数が多かったら良かったです。
- ・ひごまる君がきてシールを配られていたのが良かったと思います。何らかの形で参加賞があれば良いなと思います。
- ・時間通りに進んでいたのが素晴らしかったです。
- ・自己紹介カードの事前情報で書き換えが必要な方がいました。
- ・参加人数 25 名でちょうど良かったです。
- ・色んな方と知り合いになったり、交流の機会を持つ事で 1 人ではないという思いが増してくると思う。毎年行っていたら仲間を誘いあって参加者がもう少し増えてくるかと思えます。
- ・参加人数当初 50 名でしたが、初めての試みで 25 名スタートでちょうど良かったです。
- ・受付直後は緊張している表情でしたが、各事業所のスタッフのアシストでリラックスできた様でした。

当事者交流会報告書（運営班）

<内容>

- ・当日参加のスタッフへの、各セクションの打ち合わせが時間がなく不十分だった。
 - ・当日の打ち合わせではなく、前日に打ち合わせをすると良かったのではないか。
 - ・午後からの集合ではなく、午前中に集合、打ち合わせ、準備をして、昼食をはさみ交流会という流れだと、打ち合わせも十分にできるのではないか。
- ・アンケートにて「企画が子どもっぽい」というご意見があった。
 - 『話をするグループ』と『体を動かすグループ』と分けて、当事者に選んでもらうのもいいのではないか。
- ・部会長大島さんへの負担が大きかったのではないか？
 - 各セクションから事前に内容をまとめてもらっていたので負担感はあまりなかった。
- ・スタッフの付き添いが必要であり『当事者だけの参加ができない』という枠組みがネックになっている。
 - 参加者がどういう方なのか、どういう対応が必要なのかなど事前に確認できるといいのではないか。

○レクリエーションについて○

- ・くもん体操の練習がもっとあればよかった。一部のみの練習だったので“踊れないから楽しめなかった。”というご意見があった。 → 自由に踊れる音にする。指導者を招いてする。(エアロビやストレッチなど)

○茶話会について○

- ・茶話会についてのご意見として、「茶話会の時間が短かった」、「テーマを決めずに自由に話したかった」があった。
 - ・茶話会までの流れの持っていくかたが難しい。
 - ・それぞれの障がいがあるからこそ対応しにくい。
 - ・焦点をどこにもっていくか検討が必要
- ・ファシリテーターの場合、当日参加のスタッフがいるため、事前に企画の意図(ねらい、目的)を含めて確認しておくといいのではないか。

<申込み>

- ・エントリー時には個人情報ができあがった状態で届くので対応しやすかった。

<広報>

- ・地活中心の広報だったので、参加人数が少なかった。
- ・精神障がいの方が多く参加していたことに驚いた。
- ・就労、一般職についている当事者に参加をしてほしかった。
 - 就労支援部会と絡ませる。「就労している人の交流会」も企画できるといいかもしれない。

しかし、その際には開催曜日の検討が必要。(日曜日など)

- ・今回はポスターに詳細を載せていなかったの、今後はある程度のスケジュールを載せた方がいい。

<参加人数>

- ・当初の予定では50名の定員だったが、当日の30名の参加で丁度良かった。これ以上人数が増えると全体に目を向けられないと思う。
- ・当日は当事者より、スタッフの人数が多く、手持ちぶさただった。「交流会関係者」ではなく「メンバーの付き添い」というポジションでの参加がよかった。

<会場>

- ・イス、机の収納に手間取った。
 - 会場設営班を設けると、もっとスムーズに動けるのではないか。
- ・自家用車で来られる方も少なく、駐車場も混雑していなくて良かった。
- ・当日は天候に恵まれたが、悪天候になる場合もあるので時季を検討することも必要。

<反省会>

- ・茶話会中に他のセクションの反省会を別室で行っておいたので、時間内に終了できた。
- ・休憩時間については余裕をもってできた。

<アンケートより>

- ・「時間が長かった」との声があった。スタッフと共に来られていたアシストのメンバーさんが「自由に帰れない」と、話されていた。 → こちらからの声かけや別室での対応が必要だった。

<写真>

- ・ひごまるくんととの記念撮影の仕方を検討する。
 - 今後は当事者交流会の垂れ幕を入れて記念撮影をするといいいのでは。
- ・写真の現像については、ひごまるくんの部分のみとし、各事業所対応で必要な人のみ現像をする。

<交流会後>

- ・当事者交流会のマニュアル化を行う。各セクションに分け、紙面とデータを残しておく。

(USB、CD-ROMの使用)

- ・看板、備品などは、支援センターところで保管をする。

会場設営	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードのマジックチェック（文字が薄くて読みにくい）が、必要だった。 ・ 受付が終わって、席について手持ち無沙汰のようだった。本などを準備して、開始まで待っていただくような工夫が必要だったかも知れない。 ・ 会場が広く、入りにくい雰囲気（殺風景？）だったのではないかと、飾りつけなど工夫があればよかったのでは。 ・ 司会のマイクが入りにくかった。
進行について (オリエンテーションG)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会の中原さんの進行が聞き取り易かった ・ 自己紹介に入るときのスタートの合図があると良かった（いつ始めてよいか分からなかった） ・ 司会、サブリーダーやスタッフがグループの周囲をうろうろしていて、気にならなかったらどうか？ ・ 自己紹介では各グループリーダーがそばについていたので、話しやすかったと思う。 ・ グループリーダーが最初に自己紹介することで、参加者がリラックスしてスムーズに話せるきっかけになった。 ・ グループリーダーやサブの方への負担がかなり大きかったかと思います。 ・ 進行具合は参加されるメンバーにかなり左右されますので、今回うまくメンバーが振り分けられました、お話しが止まらない方や、中々お話しを引き出せない方など偏りがあった場合、それを適度に制したり盛り上げたりしながら時間内で納めるのは難しいと思いました。
自己紹介レク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介グループ毎の間隔が狭かった。（サークルとサークルの間隔）隣のグループの声が聞こえて話しづらそうだった。 ・ 自己紹介カードの内容を当日変更や修正していた方がいた。 ・ 「自己紹介カードに書かれている茶話会のグループ分けのA・B・C・・・はこの後茶話会があるので」と補足し、事前に伝えることで同じアルファベットのかた同士が意識している様子があり、よかったと思う。 ・ 話をするのが好きな方が多く、スムーズにコミュニケーションが取れ、自己紹介を2巡することができた。 ・ グループリーダーも緊張していたが、当事者の方が盛り上がりおまかせしてやり取りができて安心した。 ・ 時間が余ったので、よく話す方に振って時間の調整ができたので助かった。 ・ 受付けのときは緊張感が伺われ、心配していたが自己紹介になると少しずつリラックスする姿になり、良かった ・ 自己紹介でサブリーダーの合いの手があり助かった。 ・ 自己紹介時に、好きな芸能人の載った雑誌や好きなお店の雑誌を持って来られて、この会へ楽しみに来てくれたのかなと感じうれしかった。

準備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介カードの事前の情報が有効だった。(スムーズに進行できた) ・ 事業所の方が事前に参加者を選んでいただけていたのでトラブルなく進められた ・ 自己紹介カードの質問 (好きな芸能人、好きな食べ物、今日話したいこと、趣味)、ちょうど良い情報量だったと思う ・ スタッフには事前に参加者名簿が必要だった。(自己紹介時に話すきっかけ作りのための情報がほしかった) ・ 当日スタッフの方へのマニュアルを準備してあげるとよかった。 ・ くじでのグループわけをしたけれど、同じ事業所の方がいるグループもあり、せっかくの機会なので、知らない方で構成するようなグループ分けをしておく必要があった。 ・ スタッフ用の名札があれば、(所属と氏名) 参加者が話しかけることができたのでは。 ・ 自己紹介カードに無記入だったかたがいたので事業所の方を介して聞き取りをしておくべきだった。(自己紹介で話題がなくて困った)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めての企画なので24名でちょうど良い参加人数だったと思う。 ・ 参加者に今日の会の報告を事業所でしていただき、次につなげたい。 ・ 自己紹介カード上のハンドルネームでの共有でしたが、事業所の方が実名で話かけていたのが気になった。 ・ 異性との出会いを求めていたがいらっしゃった。(まずは出会いの練習の場ということを意識いただき対応した) ・ 参加メンバーさんへの連絡先(電話番号)を尋ねる方がいらっしゃった、事業所の方が対応していた。 ・ 三障害一緒の交流会開催は難しいかなと感じた。(障害特性を考えると)

レクリエーション班 報告書

(内容について)

- ・くまモン体操は広がって行う必要があり、スペースはちょうどよかったと思う。
- ・じゃんけんゲームは、音楽が鳴っている時にはじゃんけんはしないことにしていたが、自己紹介をしてすぐにじゃんけんをする人もいたり、じゃんけん後も後ろに並ばない方がいたり、参加せずに抜ける方がいてあまりが出たり等した。ゲームに参加していたスタッフの方に声をかけて促してもらえた(列になるよう声をかけたり、不戦勝にしたり、スタッフ同士でじゃんけんをしてつぶし合いをしたり等)ため、あまり混乱なくできた。
- ・ひごまるは、クイズの時に隣同士で自然に教え合ったりして話しかけている人もいた。クイズの景品や全員へのおみやげがあったのでよかった。
- ・じゃんけんゲームの記念品を参加者全員に見せたらよかった。

(進め方について)

- ・映像や音楽がうまく流れないことがあった。
- ・ひごまるは遅れるかもしれないと聞いていたが、早めに到着してもらい、時間通りに進行できた。
- ・3つ(体操、ゲーム、ひごまる)に分けてひとつひとつの時間を短くしたので、だらだらとした感じにはならなかったと思う。

(準備について)

- ・くまモン体操のDVDやじゃんけんゲームでの音楽等は、使う分だけをひとつのCDに焼いて準備しておいたほうがスムーズに流せたのではないかと思う。
- ・司会シナリオを準備していたほうが良かったと思う。
- ・じゃんけんゲーム時にひもやりポンをつかうことにしていたが、当日は使わなかった。

2013 当事者交流会「茶話会班」レポート

① 協力者コメント（メインファシリテーター、サブファシリテーター）

良かった点

- 事前情報によるメンバーの振り分けが出来ていたため、話題が盛り上がりやすかった。
（上記コメント多数あり）
- 茶話会設置準備はスムーズにできていた。
- 思いのたけを話せる場があってよかった。
- 話したりないという声があがっていた。
- レクレーションからの流れが良く、緊張感がほどよく溶けている状態からスタートできた。
- 仕掛け（あみだくじ・人形・ふせんはり）が用意されていたため、何を話せば良いのかという不安が少なかった。助かった。
- サブファシリテーターの方がいて助かった。合いの手や頷きなど。
- 中々ない経験だったので、勉強になった。
- 時間配分は丁度良かった（もう少し短くて良いかも）

改善点

- ファシリテーターとサブファシリテーターの役割分担の調整する時間をもっと必要であった。（同コメント多数あり）
- ファシリテーターは2人体制が良いと思う（同コメント多数あり）。
- 活発な議論にならなかった。ファシリテーターと当事者のやりとりだけで終始した。
- 積極的に話す方と、話さない方のバランス調整が困難であった。
- テーマを設けると話しにくいとの意見があった。

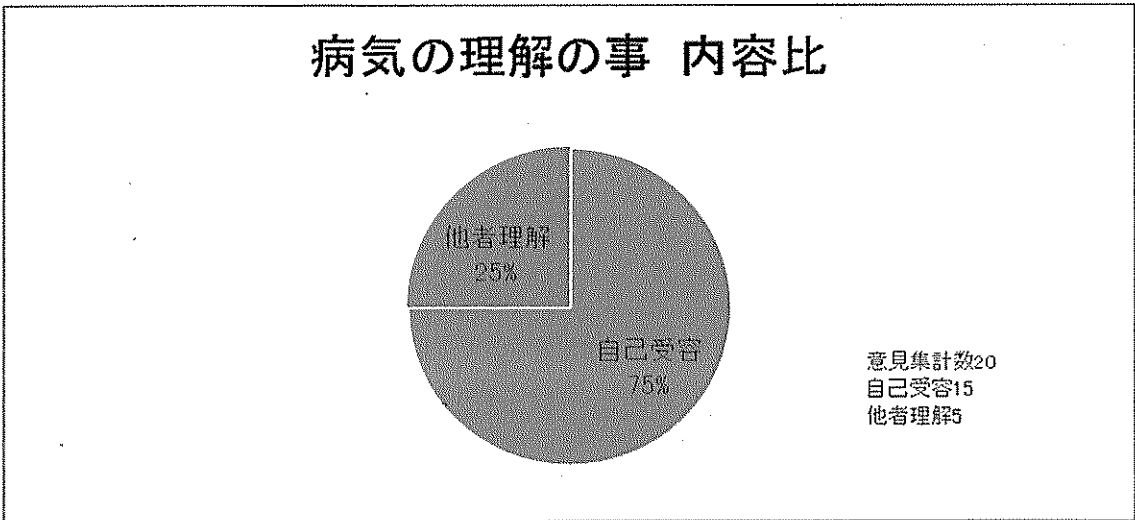
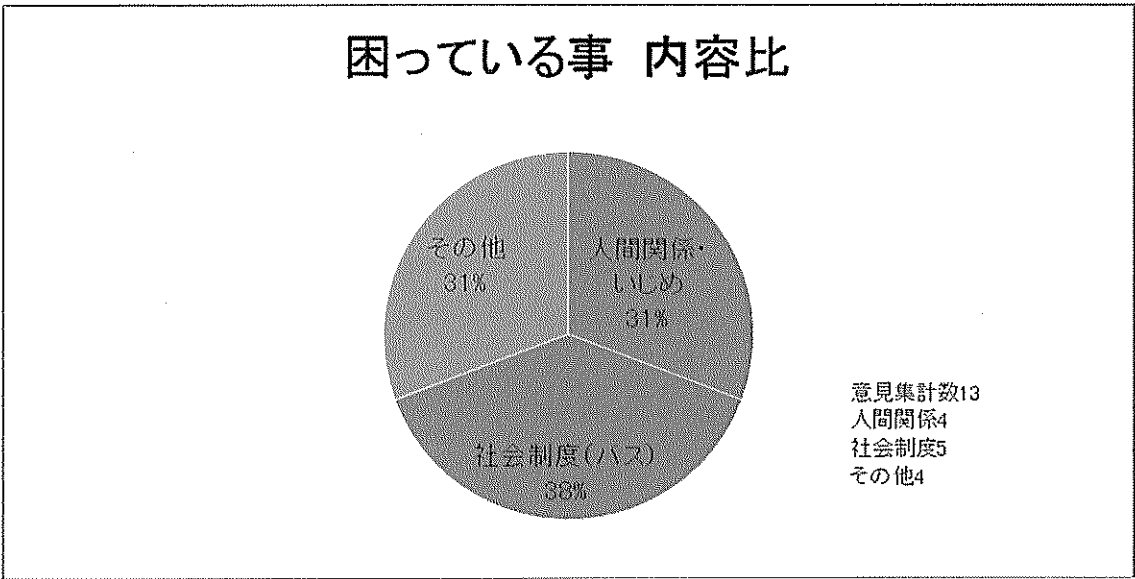
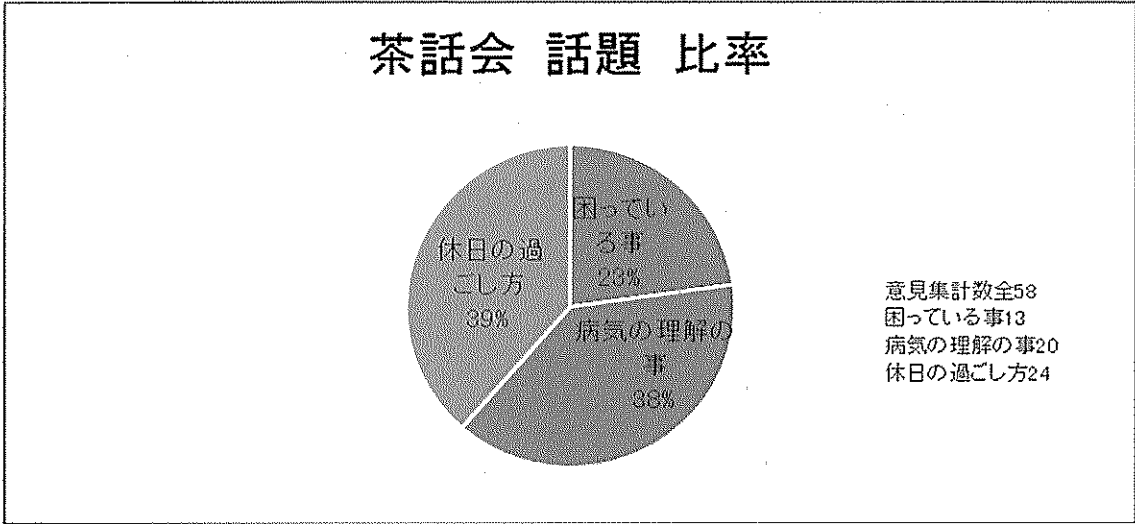
② 茶話会 当事者会 集計について

◇集計対象：茶話会意見附箋の数（47） 実行委委員聞き取り数（11） 合計 58

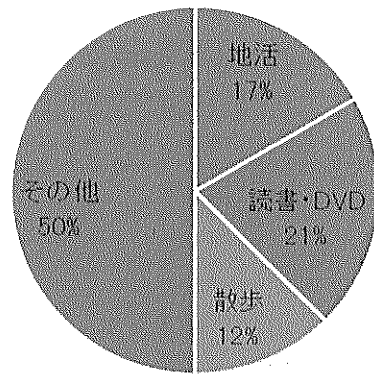
◇話題の内容分け根拠

記録を集計したところ①困っている事②病気の理解③休日の過ごし方、が多くあり3つの枠に振り分けた。
※趣味等は休日の過ごし方にて集計

③ 茶話会 当事者会話内容及び話題比率



休日の過ごし方 内容比



意見集計数24
地活4
DVD・音楽鑑賞5
散歩3
その他12

◇まとめ

話題の比率としては

困っていることや、病気の事を話す比率が多くあった。

一方で、休日の過ごし方なども意見が多数みられた。

議論が活発だったのは、病気の理解の事、困っている事が話題になった班。

一方、理解が難しい内容で話題についていけない方も散見された。

【困っている事】

病気の理解と、困っている事に関しては双方被る部分もあった。

社会制度に関しては5つの意見の内3つに「バスの運転手へ不満」だった。

【病気の理解の事】

活発な意見多く、自己受容の観点がおおかった。

【休日の過ごし方】

地活の活用、読書、散歩等あるが、様々な意見があった。

以上報告致します。

子ども部会では11月以降、特に大きな新たな取組みは無く、今年してきたことや黄色いリボン運動とのつながりで、熊本市の障害児・者サポーター制度についての討議を致しました。部会として大いに期待し、広がりを持ったものになっていくことを望んでいます。

来年度からは部会のあり方、運営を抜本的に変化しようと云うことで、2月3月は、この点に関しての論議を致します。以下に、サポーター制度に関してのメッセージを記載いたします。

熊本市障害保健福祉課の皆様へ

『障害児・者サポーター制度に期待します。』

～永続的にそして、くらしの安心と安定、充実に寄与する制度になるよう子ども部会では、こどもと家族の立場を
支援するために、積極的に、協力、提案いたします～

*子ども部会とサポーター制度～黄色いリボン運動との関わりから

黄色いリボン運動とは、ある児童発達支援事業所の親の会が、子どもたちの地域生活を豊かで充実したものにしてやりたいと次のような願いを持ち活動を開始しました。

願い①買い物、病院、理・美容院、公共交通機関の利用など地域生活全般が当事者が無理なく、安心して当たり前のこととして送れること

②スポーツや文化活動のような余暇活動を仲間と一緒に楽しめること。

③学習・療育活動などで地域の方と十分に触れ合い理解しあうことができること。

④①～③のことなどが人にしてもらおう立場から、自分の力や望みを、自分が活動したいところで発揮し、自立的に地域で生活する主体となれるような生活を作り出してあげたい。

⑤周りの方や企業、事業者の方々への啓発、必要な支援や環境整備などのご協力をお願いし、練習の機会が十分にもてる中で、育ちを保障してやりたいとの思いからの出発でした。

「シンボルマークを作り、チラシを作り」とそこまでは順調に行きましたが、いざ、企業や事業者の方々に、協力養成をする段になり、足踏み状態となりました。

こども部会がバックアップするならば、この領域になると絞り、どう展開していくか考え始めたときに、熊本市の障害者サポーター制度の新設の話を伺いました。この制度に、子ども部会としての、ご提案やお願いをさせていただき、障害をお持ちのお子さんの親御さんや関係者が望む地域での支援体制づくりの一端を強化することができるのではないかと期待しております。

そこで、こども部会の委員は、個人サポーターに早速登録し気付いた点や、お願いを積

極的に行おうと考えています。

そこで、以下に、現時点で気づいたいくつかの点について提案をさせていただこうと思います。

1、 バッジについて

現在のものは、背広など、バッジを止める穴があるもの、厚手の服でないと付けられません。女性の服には穴をあけるか、別に台となる布を用意し、そこに穴をあけてピンでとめるようになり、重い点と、付けにくさがあります。

ピンバッジ、または台紙にシールの貼り付けだと、経費も安くなり、軽くてすぐにどんな服にも付け替えが出来て便利だと思います。

現在のバッジは、絵柄の主旨などは大変よくわかるのですが、形が複雑で、周りに凹凸がある為、ぶつかった時に、怪我をする恐れもあるので、次回、増製するときにはシンプルに楕円形等にして、図柄を中に入れるなどの改善が出来ないでしょうか？

- ### 2、 被支援者にも、支援者が分かる印を・・積極的に支援を望み、周知を願う人に・・街中で、困っていそうな子どもや人を見つけた時、その人に声をかけてよいのか、余計なお世話となってしまうのか、迷って声がかけれないという戸惑いの声を聞きます。そこで、支援の必要のある方で、ご本人やご家族が、支援を要することを知ってもらい、実際にお手伝いして欲しい。安心して地域へ出せるように用支援者にもバッジが欲しいと考える人のために、支援者と同じ図柄で色の違うバッジは出来ないものでしょうか？

あるいは同じもので、バックの色が違うというものでも良いかと思えます。

3、 登録企業等について

黄色いリボン運動から考え、幼児期・学童期には、小児科・歯科など医療機関の利用が多いこと、外出のための公共交通機関の利用がしやすくなるよう、公共交通機関、近くの行き慣れた店、作り方がほとんど同じコンビニチェーン店などが登録企業になってくれるとよいと思っています。医師会、商工会議所、商店街、コンビニチェーンのその地区を統括するトップ等への企業サポーター受託の働き掛けをお願いできないでしょうか？

これらの医院や事業所などには、外を通りかかった時にわかるような、ステッカーなどが張り出されていると分かりやすく便利だと思います。

派出所や交番・警察の生活安全課の方などにも、周知していただけるようになると安心だと思っております。

現在のところ以上3点ですが、子ども達とご家族が、安心して地域生活が送れますよう、個人及び、企業サポーターさんがひとりでも多く、登録され実働できるよう「どんな人でも安心して地域生活が送れる町・熊本市」の実現の為、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

子ども部会会員も、微力ながら、支援の一端を担って行きたいと思っております。

平成25年度 第4回熊本市障がい者自立支援協議会
就労部会報告

これまでの活動内容について

今年度は「ガイド・PR班」、「研修班」、「福祉計画班」の3班に分かれ、リーダー・サブリーダーを中心に各班で年間目標と具体的な実施計画を策定し、目標達成に向けて作業に取り組んできました。今年度も各班ともに成果を出しております。さらに、第2回の自立支援協議会で取り上げられた議題でのA型事業所の課題について、就労部会でもそれらに対する解決策を考えたいと10月の部会より「A型サポート班」を発足し、熊本市内のA型事業所の継続的なサポートを検討しております。

【各作業班の目標・計画】

- 研修班** ◇参加者の就労支援のスキルアップを目的とした内部研修を毎月開催
- ・6月から11月まで発達障がいのテーマを中心に全6回実施
- ◇外部研修を開催（年1回）
- ・テーマ：「発達障がいのある方の就労支援について」
 - ・開催日時：平成25年2月8日（金）午後1時30分～4時30分
 - ・開催場所：ウェルパル大会議室
 - ・対象者：当事者の方・ご家族・学校の先生・支援者等（約150名）

- ガイド班** ◇昨年度作成したガイド集の更新、バージョンアップ
- ・新規事業所を加えた新たなガイド集を熊本市のホームページに掲載
- ◇情報発信集「しごといく」の第2弾を作成
- ・熊本市のホームページへの掲載と主催研修会で一部の内容を配布

- 福祉計画班** ◇就労継続支援A型・B型事業所へのアンケート調査の実施
- ・今後はアンケート内容の分析に取り組んでいく

- Aサポート班** ◇平成26年1月31日に「A型事業所研修会」を開催
- ・23事業所、24名が参加
 - ・全参加事業所がこうした機会を継続することを希望されており、就労部会としても引き続き検討していく

平成26年度の予定

平成27年度の福祉計画に提言できるような取り組みを熊本市と協同し就労部会として取り組んでいきたいと考えている

平成 25 年度 第 4 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

25 年度の活動内容について

相談支援部会は「相談支援専門員の質の向上」「熊本市における相談支援体制の強化」「相談支援事業所の情報の共有」「効率的な計画相談の対応に向けた基盤作り」を目標に取り組む。
熊本市相談支援補助事業所 15 事業所と特定相談のみの事業所と一緒に熊本市の相談支援や計画相談体制についての意見交換や情報の共有、研修を実施している。
参加者は、毎回 20 事業所以上 30 名前後。

部会活動報告

第 6 回(11 月)

熊本市より『障がい者に対する相談支援体制の重点化について』説明及び意見交換

第 7 回(12 月)

情報交換 計画相談の対応確認、困難事例検討(個人情報取り扱い 就労B型対応など)

第 8 回(1 月)

前半:「地域定着支援センターの説明と相談支援事業所との事例について」

講師:地域定着支援センター

後半:定着支援センターの講師を交えて、触法障がい者への支援など困難事例についてのグループワーク

平成 26 年度年間計画について

※ 別紙を参照

参加事業所数も多くなってきた為、コアメンバーで討議した結果、平成 26 年度は相談支援部会の目的を踏まえた上で、以下の 4 つの班に分け、前半はミニ研修、後半は班単位の作業を行っていく予定(コアメンバーが各班の班長を担当、各班の補佐に他の事業所から数名依頼する)。

- ①「研修班」 ……年間のミニ研修の企画調整を行う
- ②「計画相談マニュアル作成班」……他県のマニュアル等を参考にしながら、熊本に特化した、出

来るだけ簡単なマニュアル等を作成・更新を行っていく。

- ③「Q&A班」 ……特に新規事業所等が不安に思っている点や日々の業務の中での疑問などを中心にグループワークを行う。またここで解決した問題等をマニュアルに反映させていく。
- ④「現状分析班」 ……部会始めに簡易なアンケートをとる等により、熊本市・各区の計画相談状況等を把握。相談支援体制の余力等をできるだけリアルタイムで共有できる資料作り等を行う。

開催日時 第三水曜 15:00～17:00

- 部会の進行
1. 挨拶・アンケート(15分)
 2. ミニ研修/説明会(45分)
 3. 班毎に分かれて作業・グループワーク(45分)
 4. 班進捗状況報告・インフォメーション等(15分)

※ 日々の業務があるため、作業は出来る限り部会内で終わらせて、宿題を作らない事を目標!!

※ 連携強化のため懇親会を増やす。

平成26年度「相談支援部会」年間計画（案）

平成26年度は、「研修班」「計画相談マニュアル作成班」「Q & A 班」「現状分析班」（全て仮称）の4班に分かれ、相談支援専門員の質の向上を図り、熊本市における相談支援体制の強化、効率的な計画相談の対応に向けた基盤づくりを目的に、それぞれの班で目標をたてて取り組む。

開催日時(案) 第 3 水曜日 15:00~17:00

部会の内容 挨拶・アンケート(15分) 研修/説明会(45分) 班ごとにグループワーク(45分) 班報告・インフォメーション(15分)

月	前 半		後 半	
4月	挨拶 アンケート	研修 ささえりあとの連携（案）	班ごとにグループワーク ・本会議提出資料まとめ	報告 インフォメーション
5月		説明会 行政より法令関係（案）		
6月		研修 精神障害について（案）		
7月		研修・説明会（3ヶ月前までに内容を決定）		・本会議提出資料まとめ
8月				
9月				・マニュアル素案提示 ・Q&A 中間まとめ
10月				
11月		途中、市役所担当課とも相談し、必要時は研修や説明会等の設定も検討。		・本会議提出資料まとめ
12月				
1月				
2月				・26年度部会、本会議提出資料まとめ
3月	↓	↓	↓	↓

平成25年度 精神障がい者地域移行支援部会(障がい者自立生活体制検討会)活動経過①

〈全体検討・研修会〉

	テーマ	内容
5/15	事業説明、自立支援協議会の説明	事業概要と自立支援協議会の説明 今後の検討会の進め方について意見交換
6/12	事業経過・制度説明	事業経過及び福祉制度(地域相談支援)の説明
7/10	「ピアサポートの活用について」	ピアサポーターの活動報告及び参加者との意見交換
8/21	「精神障がい者の地域生活支援」 講師:こころの健康センター 井形医師	精神障がい者アウトリーチ推進事業の報告、アウトリーチの理念・ACT や保健所の相談支援との違い・事業の対象者等についての説明
9/11	「退院支援・地域支援の実践報告」 講師:地域体制整備アドバイザー 大島 高昭 氏 大関 宏治 氏 崎山 徹 氏	・院内で行われている退院支援におけるチームアプローチの実際 (事例報告) ・地域移行支援事業の経過、他都市の事業の状況、事業の活用の仕 方と今後の課題 ・地域移行推進員の経験から得た当事者支援のポイント
10/9	WRAPについて(DVD)	WRAP(元気行動回復プラン)の概要、研究会活動やクラスの実際
11/13	事例検討	退院支援を行った一事例の報告及び支援のポイントについて小グルー プで意見交換
12/11	事例検討	退院支援が困難な一事例について小グループで意見交換
1/8	高齢入院患者地域支援事業の経過報告	事業実施7病院より対象ケースの支援経過報告
2/26	退院後の居住先を探す際の支援方法に ついて	退院時に利用可能な社会資源や具体的な支援方法について小グルー プで意見交換
3/12	1年間のまとめ、次年度計画 ※地域移行支援協議会開催予定	事業報告、課題の整理、意見聴取

平成25年度 精神障がい者地域移行支援部会(障がい者自立生活体制検討会)活動経過②

〈テーマ別グループワーク〉

テーマ	課題と取り組み内容
<p>普及啓発グループA (病院・事業所等の専門職対象)</p>	<p>・前年度に地域移行支援・地域定着支援(個別給付)のポスターを作成して各病院へ配布したが、他職種の間心や制度の理解が十分ではない状況がある。 →病院内の各専門職を対象としたアンケート(制度・事業の認知度や課題)を実施。年度内に結果を集計・分析後、今後の普及啓発の方法を検討する。</p>
<p>普及啓発グループB (地域住民・当事者等対象)</p>	<p>・地域住民とのトラブルにより退院が困難なケースや、施設・病院と地域住民との関わりが難しいケースがある。 →地域のキーパーソンである民生委員や自治会長を対象とした研修会を企画する。各関係機関が地域とどのように連携しているか現状確認する。 地域包括支援センターとの情報交換を行い、ネットワークを作る。 (平成26年度5月に情報交換会を企画)</p>
<p>ピアサポート活用グループ</p>	<p>・ピアサポートの活用についてポスター・リーフレットを配布し啓発をしているが、実績は少ない状況が続いている。 →事業の啓発について検討会参加者とピアサポーターで意見交換を行う。 ピアサポーターができる具体的な支援が不明確なため、普及啓発の方法を再検討。具体的な支援内容を示したリーフレットを作成し、啓発を継続して行う。</p>

平成26年度 熊本市精神障がい者地域生活移行支援事業
障がい者自立生活体制検討会 年間計画(案)

	検討内容		備考
	全体検討	グループワーク	
5/14	・事業説明 ・研修会：“ささえりあ”知る（講話と事例を通じた意見交換）		・自立支援協議会(5/16 金)
6/11		前年度テーマの続き	
7/9	・高齢精神障がい者が利用できる施設について情報交換		
8/20 (第3水)		↓	・自立支援協議会(8/22 金)
9/10			
10/8	・全体研修、事例検討 事例集を利用した地域移行支援のポイントの整理		・地域移行支援協議会(予定) 地域精神保健福祉連絡協議会と兼ねて開催
11/12		↓	・自立支援協議会(11/21 金)
12/10			
H27 1/14		↓	
2/18 (第3水)	・地域移行支援協議会(予定)		・自立支援協議会(2/20 金)
3/11	・今年度まとめ ・次年度計画		

※今年度は、高齢者が利用できる施設サービス事業所や市高齢介護担当も含めた合同研修会・情報交換会を計画中。